



晃陽

第5号

～生徒が安心して力を発揮できる学校～

<目指す生徒像>

- たしかな学力をもつ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- 強い体力・気力をもつ生徒

晃陽は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

学校だより 令和元年9月3日

宇都宮市立晃陽中学校長 大島 誠

夏休みが終わり1学期のまとめの時期です！

今年の夏も本当に暑い日が続き、健康・安全に過ごすことはもちろん、地球環境や温暖化等についても改めて考えさせられました。大きな事故やけがもなく36日間の夏休みが終わり、8月29日には学校が始まりました。明るい笑顔や元気なあいさつなどから、それぞれの夏休みが充実したものであったと感じました。2学期制の宇都宮市では10月11日の終業式に向けて、1学期のまとめに入っていきます。学校では、生徒一人一人が安心して十分に力を発揮できるよう指導・支援していきます。

総合体育大会結果



7月から8月にかけて、総体の宇河地区大会、県大会、関東大会が開催されました。宇河地区大会には各運動部が出場し、地区大会を勝ち抜いた部が県大会に出場しました。3年生にとって中学校最後の大会ということで、各部ともチーム一丸となって大会に臨みました。生徒たちは、これまで練習で培った心と技、そしてチーム力を生かして各競技で精一杯力を発揮しました。会場でご声援をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

《宇河地区大会》

- 野球
 - 1 回戦対宝木中0-2 惜敗
- サッカー
 - 1 回戦対陽東中0-4 惜敗
- 女子バレーボール
 - 3 敗にて予選リーグ敗退
- 剣道男子団体
 - 対若松原中0-2 惜敗 対宝木中0-2 惜敗 对本郷中0-2 惜敗
 - 1 回戦対姿川中3-2 快勝 2 回戦対宮の原中0-5 惜敗
 - 敗者復活戦 1 回戦若松原中0-2 惜敗 2 回戦国本中2-1 快勝
 - 3 回戦泉が丘中0-3 惜敗
- 剣道女子
 - ・個人 1 回戦で惜敗
- 卓球男子団体
 - ・個人 2 回戦で惜敗
- 卓球女子団体
 - 予選リーグ対河内中3-2 快勝 対泉が丘中3-1 快勝 対星が丘中3-2 快勝
 - 決勝トーナメント 1 回戦対豊郷中3-1 快勝 準々決勝0-3 惜敗
 - ・個人 シングルス平澤陽向 **ベスト3 2 県大会出場**
 - 予選リーグ対国本中3-2 快勝 対泉が丘中3-0 快勝
 - 決勝トーナメント 1 回戦対上三川中3-0 快勝 準々決勝対明治中3-2 快勝
 - 準決勝対若松原中0-3 惜敗 **ベスト4 県大会出場**
 - ・個人 シングルス押久保心咲 **ベスト3 2 県大会出場**
 - ダブルス永岡にこ・押久保心咲組 **ベスト1 6 県大会出場**
- 女子バスケットボール
 - 2 回戦対豊郷中78-36 快勝 3 回戦対河内中42-75 惜敗
- 水泳個人男子
 - 男子 200m バタフライ 5 位 200m 個人メドレー 9 位 **福田奈央 県大会出場**
 - 男子 200m 自由形 7 位 400m 自由形 5 位 **福田真央 県大会出場**



《県大会》



- 卓球男子
 - ・個人 男子シングルス 平澤陽向 1 回戦敗退
- 卓球女子団体
 - 1 回戦対矢板中 0－3 惜敗
 - ・個人 女子シングルス 押久保心咲 1 回戦敗退
 - 女子ダブルス 永岡にこ・押久保心咲組 2 回戦敗退
- 水泳個人
 - 男子 200m 自由形 400m 自由形 福田真央予選敗退
 - 男子 200m 個人メドレー 福田奈央予選敗退
 - 男子 200m バタフライ 福田奈央 7 位 関東大会出場



《関東大会》

- 水泳 男子 200m バタフライ 福田奈央予選敗退

吹奏楽コンクール



7 月 28 日（日）宇都宮市文化会館にて開催された、第 61 回県吹奏楽コンクール中学校 B 部門に吹奏楽部が出場しました。小嶋先生の指揮のもと、広瀬勇人作曲「青のやまなみ」を演奏しました。部員 18 名で堂々と演奏し、銅賞を受賞しました。



宇河新人大会



9 月 6 日（金）の水泳を皮切りに、宇河新人大会が始まります。運動部は 20 日（金）からスタートです。3 年生の引退後、夏の暑い中でも一生懸命練習してきました。各部とも人数は少ないのですが、1・2 年生による新チームの活躍を期待しています。



ちょっといい話？！ 「好不調の法則を意識しよう」 PHP 7 月号

森 絵都：作家。1968 年東京生まれ。2006 年 直木賞受賞

恐れるべきは、むしろ好調時だと今は思っています。良い波が来ているときには、氷上を滑るようにすると原稿がはかどります。しかし、楽なことばかりしていると、人間の成長は止まります。楽に書けているときこそ注意を払い、自分の原稿を疑ってかかる、昨今の私は『好調の否定』を心がけています。

原稿執筆のお話をしてきましたが、この『好不調の法則』は、人生一般にも言えることではないでしょうか。

なんだか辛い。毎日が苦しい。何をやってもうまくいかない。そんなときには、どうか上り坂をイメージしてみてください。その苦しみは、今よりも高いところへ向かって坂を上っているが故の負荷です。きちんと上へ前進しているからこそ辛いのです。たとえ今、自分が無駄に足掻いているだけのように感じられたとしても、その苦しい足掻きの中で培った筋力は、必ず未来のどこかであなたを助けてくれるはずです。

逆に、なんだか最近はずいぶん楽だ、毎日ルンルンしている、しばらくは苦勞をしていない—なんてときには、坂道を転がり落ちているときかもしれないのでご注意ください。

不調をうけが、好調を疑う。これぞ、どんと生きるための秘訣ではないでしょうか。

